

は じ め に

近年、社会経済の発展は、国際化、情報化、技術革新をもとに大きく変化しており、国民生活も著しく向上するなか、人生80年代の高齢化社会を迎えて、健康に対する社会的関心は益々高まって行くものと考えます。

高齢人口の増加、疾病パターンの変化にともなう保健衛生の向上、健康の維持増進にかかわる重要な問題も数多く提起されております。これらの諸問題については、鋭意行政上の諸施策が構じられてきましたが、当所においても行政部門との密接な連携のもとに、衛生行政の技術的中核として果たすべき機能を充実し、試験検査、調査研究の推進に努めてきました。

特に昭和52年以来、全国地方自治体に先駆けて新生児・乳児に対する先天性代謝異常検査を取り上げ、クレチン症、TBG欠損症、神経芽細胞腫、先天性副腎皮質過形成のマス・スクリーニングを逐次実施し、さらに昭和61年度からは本市の独自事業として新たに妊婦甲状腺機能検査に取り組み、マス・スクリーニングに関する試験検査研究に着実な成果を上げ、母子保健の向上に寄与するとともに、国際的にも評価を受けてきたところです。また、寒冷地における住宅環境問題、有機塩素系溶剤による環境汚染、スパイクタイヤによる道路粉じん、酸性雨等の諸問題についての調査研究にも積極的に取り組んでおります。

念願の新庁舎は昨年10月完成し、平成元年にふさわしい新しい環境のもとで、21世紀に向けてスタートする記念すべき年であります。ここに、新しい時代の進展と共に、高度化、多様化する住民のニーズと行政需要に十分対応すべく、「健康都市さっぽろ」を目指して所員一同従前にも増して決意を新たにしております。

終わりに、この冊子がいささかなりとも関係の皆様方に役立つことがあれば望外の喜びであり、今後とも一層のご鞭撻とご指導をお願い申し上げる次第であります。

平成元年 3 月 20 日

札幌市衛生研究所長

高 杉 信 男